

# 事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	1107	(H.24)No.	1107
-----------	------	-----------	------

事務事業名		鳥獣害防止事業			
担当部局名		担当室名		室長名	連絡先
産業部		農林資源室		西森 平太郎	63-7625
新・継	事業期間		根拠法令等		
継続	平成	年度～	平成	年度	

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	2	美しい自然に包まれた、憩いと潤いのある暮らし
	基本政策	3	新しい名張農業の振興と農山村の整備
	施策	1	農村環境整備
	小施策	1	魅力ある農業づくり
	重点施策コード		

## 2. 予算区分

会計区分		事業コード	340504
一般会計		(中事業名)	予算書事業名
款	農林水産費	林業振興対策費	
項	林業費	(小事業名)	
目	林業振興費	鳥獣害防止事業	

## 3. 事務事業の概要

事業概要	
有害鳥獣の被害防止のため、被害地区と猟友会ほか関係機関との連携を図り、効果的な防除及び捕獲を行う。	

めざす効果(事業目的)	
サル、シカ、イノシシ等の野生鳥獣による農林作物への被害を防止する。特に被害が大きい中山間地では、耕作意欲衰退が危惧されており、これを最小限に食い止め、集落機能の維持、農地の多面的機能発揮に努める。	

## 4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

		平成23年度 (実績・決算見込)	平成24年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)		
		[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	
				指定管理	補助金・交付金	
				その他 ( )		
主な事業の実績・計画		被害地域からの依頼に基づく猟友会による有害鳥獣捕獲等の実施。 捕獲報償金 512千円	被害地域からの依頼に基づく猟友会による有害鳥獣捕獲等の実施。 捕獲報償金 1780千円	平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)	平成27年度 (計画)
				被害地域からの依頼に基づく猟友会による有害鳥獣捕獲等の実施。 捕獲報償金 1780千円	被害地域からの依頼に基づく猟友会による有害鳥獣捕獲等の実施。 捕獲報償金 1780千円	被害地域からの依頼に基づく猟友会による有害鳥獣捕獲等の実施。 捕獲報償金 1780千円
<b>直接事業費</b>		<b>512千円</b>	<b>1,780千円</b>	<b>1,780千円</b>	<b>1,780千円</b>	<b>1,780千円</b>
財源内訳 (千円)	国庫支出金					
	県支出金	0	0	0	0	0
	地方債					
	その他( )					
	一般財源	(0) 512	1,780	1,780	1,780	1,780
人工数	職員	0.22人	0.06人	0.06人	0.06人	0.06人
	臨時職員等	0.01人	0.01人	0.01人	0.01人	0.01人
<b>概算人件費</b>		<b>(0千円) 1,623千円</b>	<b>455千円</b>	<b>455千円</b>	<b>455千円</b>	<b>455千円</b>
<b>+ 総事業費</b>		<b>(0千円) 2,135千円</b>	<b>2,235千円</b>	<b>2,235千円</b>	<b>2,235千円</b>	<b>2,235千円</b>

概算人件費は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成23年度の( )内の数値は、22年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計及び組合会計の一般財源欄には当該会計上の一般財源を、企業会計の一般財源欄には一般会計繰入金を記載しています。平成25年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

### 5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	有害鳥獣による農作物被害額	千円	-	-	-	-
	実績			31,531	16,298	23,470	未確定
成果指標	目標	身近な自然環境(田園・里山・森林等を含む)の保全や適正な管理・活用に関心のある市民の割合	%	-	-	-	75.0
	実績			73.2	75.4	71.7	70.1
	目標						
	実績						

### 6. 考察(前年度の評価)及び今後の対応方針

考察(前年度の評価-各指標等)	今後の対応方針
ニホンザル、ニホンジカ、イノシシ等の有害鳥獣の個体数の増加に伴う農林業被害の拡大が懸念されている。	捕獲報奨金の支出による捕獲意欲の向上を図り、個体数調整を推進する必要がある。

### 7. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・議会・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
有害鳥獣の個体数は増加の一途をたどっており、農林業被害のみならず、生活環境に対する被害も発生しているため、被害対策が必要である。	有害鳥獣による農林業被害に対する市民からの捕獲、防護柵の設置等の要望が多数寄せられている

### 8. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

点検項目	具体的内容(選択肢 ・ の場合) (4)は の場合
(1) 現在の事業費内で、更に効果を高める方法や工夫等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(2) 効果・効率性の観点から他の事務事業と連携・統合を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない 検討余地がある	国、県補助金事業と連携した事業実施について検討する。
(3) 新たな財源確保や受益者負担の見直し等を行うことができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(4) 事業に関係する地域ビジョン(地区別計画含む)はあるか [選択肢] ある ない ある	国津地区
(5) 事業に地域ビジョンの内容を反映しているか(反映するか) [選択肢] 反映済み 反映を予定 反映予定なし(該当しない) 反映を予定	
(6) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を行うことができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	

### 9. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(事務改善) 継続(現行) 継続(拡大) 休止・廃止検討 事業完了(完了予定含む)
継続(拡大)
「継続(現行)」の場合のみ理由を記載

特記事項